

B.....05

頂法寺（六角堂）  
シダレヤナギ

## 六角通烏丸東入堂之前町

●高さ 7.4m

●幹周 0.88m

◆やなぎ科／落葉高木

シダレヤナギは中国原産で、奈良時代に日本に渡来し、古くから都の大路に植えられていました。枝張りや葉の形の違いで種類が分かります。

六角堂には江戸時代から「地ずり柳」と呼ばれ、枝先が地面につくほどに伸びたヤナギがあったとされ、現在のヤナギはこれを植え継いでいるといわれています。珍しい品種であることから、「ロッカク」「ロッカクヤナギ」とも呼ばれています。枝が長く垂直に下がり、葉も枝と平行して垂れるのが特徴です。

B.....06

生祥公園  
アオギリ

## 六角通麩屋町西入大黒町

●高さ 10.0m ●幹周 1.13m

◆あおぎり科／落葉高木

アオギリの葉は大きく、枝先に集まって付き、夏は心地よい緑陰をつくります。

B.....07

ろっくんプラザ  
モミジバフウ

## 六角通寺町東入街路広場

●高さ 12.7m

●幹周 0.86m

◆まんさく科／落葉高木

平成3年に六角通寺町の道路区域内につくられた緑地は、「ろっくんプラザ」の通称で親しまれています。この広場の整備は、地元の商店街等とのパートナーシップにより行われました。季節感のある樹木が植えられた広場は、都市の貴重な緑地であるとともに、人々に潤いを提供する水と緑のオアシスです。

## モミジバフウ

まんさく科

北アメリカ原産の落葉樹。幹は直立し、枝を四方に拡げて整然とした樹形をつくります。生長は早く、樹皮には厚いコルク層が発達します。秋には深紅色に紅葉します。

## アオギリ

あおぎり科

中国原産の落葉樹。樹皮は緑色でなめらか。切れ込みのある大きな葉が枝先にかたまって付きます。夏に花を付け、果実は舟形に裂けます。

